

国語科学習指導略案

1年1組 29名 指導者 上原孝夫

本授業では、以下のような検証を行うものである。

言葉や挿絵を手掛かりに根拠を明確にし、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像を広げながら読むことができたか。

1 単元 想像を広げて読もう 「はなのみち」

2 指導計画 (総時数8時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
課題をつかむ	1 「はなのみち」を読んだり挿絵を並べ替えたりして、あらすじをつかむ。	1
	2 読んだ感想を交流しながら学習のめあてを決め、学習計画を教師と一緒に話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">一年一組「はなのみち」音読劇発表会をしよう。</div> 【関：進んで音読劇作りを楽しもうとしている。】	1
情報をもとに読み取る	3 1～3の場面のしたことや言ったことの叙述や挿絵を基に、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像を広げながら読む。 【読：登場人物のしたことや言ったことの叙述や挿絵を基に、想像を広げて読んでいる。】	2
	4 4の場面の叙述や挿絵を基に、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像を広げながら読む。 【読：登場人物の行動描写や挿絵を関連的にとらえ、場面の様子を想像を広げながら読んでいる。】	1 本時
主体的に表現する	5 これまでに想像したことを付け加えた音読劇にまとめる。 【読：想像を広げながら場面の様子や会話文を考え、主述を整えたり会話文を使ったりした音読劇を作っている。】	2
	6 音読劇を友達や家族に発表し、感想を交流する。 【読：想像を広げて読み取ったことを生かして、音読劇を楽しんでる。】	1

3 本時 (5/8)

(1) 目標

4の場面の叙述や挿絵を基に、言葉を結び付けながら場面の様子や登場人物の気持ちを想像を広げて読むことができるようにする。(読ウ)

(2) 評価規準

登場人物の行動描写や挿絵を関連的にとらえ、場面の様子を想像を広げながら読んでいる。



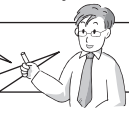
【読む能力】

(3) 指導に当たって

導入の段階では、学習計画表や1～3の場面のワークシートを使って、前時までの登場人物の行動を中心に場面の様子を想像を広げながら読んだことを想起させ、本時では4の場面の様子を想像を広げて読むことを確認させる。

展開の段階では、まず、2の場面の挿絵と比較させながら登場人物の「したこと」や「言ったこと」を想像させる。想像したことを自由に発表させる中で、「春」という季節を押さえたり、想像することの楽しさを味わわせたりしていく。次に、さらに想像を広げさせるために、「あたたかいかぜ」等の叙述に着目させ春をイメージする言葉や関連する言葉等を集めさせる。また、挿絵についても動き、気温、色、物音、鳴き声、におい等の観点を提示し、児童が具体的に言葉を集めることができるようにする。そして、集めた言葉を使って場面の様子等を想像を広げさせていく。

終末の段階では、集めた言葉を使って想像した内容を発表させていく。集めた言葉を使って進んで発表したり友達の発表に興味をもって聞いたりしたことを賞賛する。また、次時でこれらの内容をつないで音読劇作りをしていくことを伝え、活動への興味・関心を高めるようにする。

時	過程	主な学習活動と教師の手立て・評価	
(分) 7	導入	<p>1 前時までの学習を想起し、話のあらすじや1～3の場面の様子で想像したことを確認する。</p> <p>〔・くまさんはふくろをみつけたよ。 ・くまさんは、とちゅうでなかみをおとしてしまったよ。〕</p> <p>2 学習のめあてと進め方を確かめる。</p> <p>4のばめんのどうぶつたちは、どんなことをしたりいつたりしているのだろう。</p>	<p>学習計画表や1～3の場面のワークシートを基に、あらすじや場面の様子を確認させる。</p>  <p>本時では、叙述や挿絵を基に4の場面の様子を想像を広げながら読むことを伝え、学習の見通しをもたせる。</p>
		<p>3 4の場面の登場人物の行動や会話を想像する。</p> <p>〔・きつねがてをあげてはしているよ。「いっしょにあそぼう。」とっているね。 ・ちょうがとんでいます。「おなががすいたよ。」とっているよ。〕</p> <p>4 叙述や挿絵を基に、言葉を広げる。</p> <p>(1) 春をイメージする言葉や関連する言葉を集める。</p> <p>〔・「あたたかい」のにていることばに「ほかほか」があるよ。 ・「あたたかい」のはんたいのことばに「つめたい」があるね。 ・「ながいながい」は「ながい」よりも、もっとながいよね。〕</p> <p>(2) 挿絵からイメージする言葉を集める。</p> <p>〔・ちょうが「ひらひら」とんでいるよ。 ・すずめが「ちゅんちゅん」なっているよ。 ・きれいなはながとってもあまいにおいをしています。〕</p> <p>5 集めた言葉を使って、登場人物の行動や会話を想像する。</p> <p>〔・ほかほかしてきたので、うさぎもそとでたのしそうにあそんでいるね。 ・「きもちがいいよ。いっしょにあそぼうよ。〕</p> <p>6 想像したことを発表する。</p> <p>〔・ちょうがひらひらとんでいるよ。 ・「はるになったね。はながいっぱいだよ」「とってもあまくていいにおいだね。」とっているよ。〕</p> <p>7 次時の学習への期待感をもたせる。</p> <p>〔・想像したことをいっぱい付け加えた音読劇を作るぞ。〕</p>	<p>2の場面の挿絵も並べて提示することによって、同じ場所での季節の変化をとらえさせやすくする。</p>  <p>叙述（「あたたかいかぜ」「ながいながい、はなのいっぽんみち」）や挿絵から動き、気温、色、物音、鳴き声、におい等の観点で言葉集めをさせる。</p> <p>※ 登場人物の行動描写や挿絵を関連的にとらえ、場面の様子等を想像を広げながら読んでいます。 (サイドラインを引く・シールを貼る・発表する)</p> <p>○ 言葉を集めたり想像を広げたりすることのできる子どもには、挿絵からより多くのことを想像させるようにする。</p> <p>○ 言葉を集めたり想像を広げたりすることのできない子どもには、挿絵の一つの場面に限定させたり、言葉のヒントカードを基に個別指導を行ったりする。</p> <p>想像した行動や会話の中に、集めた言葉を結び付けて発表させる。</p>  <p>次時は、これまで想像を広げたことを基に、グループごとに音読劇を作ることを知らせ、学習に対する意欲を高める。</p>
28	展開		
10	終末		